



# 関東徳高会 No.3

敬 愛  
向 学  
共 生

発行所:〒142-0062 品川区小山 4-5-2 荏原不動産 TEL 03-3781-0446 発行人: 関東徳高会会長 喜多正吉

## ご挨拶 美しき「踏み石文化」

関東徳高会会長 喜多 正吉

会員の皆様にかかれましては益々御清福の事とお喜び申し上げます。

平成 24 年 6 月から関東徳高会の会長職を拝命致しました徳之島町母間出身の喜多正吉でございます。

微力ではございますが与えられた期間、伝統ある関東徳高会の運営とその事業の達成のため努めたいと思っておりますのでご支援よろしく願いいたします。

関東徳高会の始まりは昭和 29 年ごろ 5・6 名の同窓が東中野で集い、情報交換や将来の夢を語ったのが始まりと聞いています。第 1 回卒業生は昭和 26 年に誕生しているわけですが奄美は米軍の軍政下であり上京にはただならぬものがあつたと推察します。今風に居酒屋での集いとはいかず新宿御苑でチューインガムを分け合いながらも絆を太くし、夢は壮大であつたようです。

私が昭和 41 年に卒業して上京した頃は、学生を中心とした「徳友会」と称する集いがあつて早稲田大学の寿洋一郎先輩を中心とした活動がありました。

昭和 45 年、母校の創立 20 周年を機に関東徳高会は誕生しました。1 回卒の米田 実氏を会長に推挙し故麓高明弁護士が事務所を提供すると共に麓・寿の事務方コンビで基礎が出来たと思います。特に 1~5 回卒業の先輩達の「我が弟・妹のごとき」熱き導きが今も脳裏にあります。40 数年を経て改めて感謝申し上げます。

数ある奄美の郷友会いずれも然りですが会の存続は会員のご芳志によるところが多です。「母なる故郷」「我が弟・妹のごとき後輩」さらに「心安らぐ同級生」の絆は「奄美特有の尊い精神文化」「寄付文化」にあり出世払いの文化が先人から脈々と引継がれていると解釈しております。東京に身内が無くても我が道を開くため先輩を頼り居候しつつ今日の生活を得た島人は多く、恩返しとしてのご芳志文化が誕生したと思ひます。

東京生活の足がかりとなつた先輩という礎は、まさに美しく輝き、私は「踏み石文化」と称して誇りにしています。昨年度の総会開催に当たりまして 40 余万円のご芳志がありました。美しき「踏み石文化」がある限り同窓会は永遠です。熱く感謝申し上げ挨拶とします。



## ご挨拶

徳之島高等学校同窓会蔵越会 会長 福田 利光

会員の皆様、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

平成 24 年 1 月 6 日の役員会で同窓会長に選任され、11 月 10 日の本部同窓会で承認された天城町当部出身の福田利光でございます。

一昨年 3 月には東日本大震災が発生し、多くの人命と財産が失われました。震災後 2 年を経過した現在も復興半ばで、全国各地で多くの避難した方々が不便な生活を余儀なくされておりますことは心が痛みます。早急な復興を祈念申し上げます。

昨年は、奄美群島でも類を見ない台風が幾度も襲来し、人家の全・半壊をはじめ、さとうきび等の農作物に大きな被害を与えました。自然の恐ろしさを改めて実感させられました。

平成 24 年 6 月 30 日の関東徳高会総会にはじめて出席し、ご挨拶を申し上げる機会を得ましたことは私の最も光栄とするところでございます。皆様の温かい歓迎ありがとうございました。

ここで平成 24 年度在校生への支援状況についてご報告申し上げます。女子寮完成に伴う空調設備 3 基、野球部の県大会出場旅費、空手部の九州大会および全国大会出場旅費、音楽部楽器運搬用トラックの購入費、学習会(生徒)および研修会(職員)、卒業証書ホルダー等に助成いたしました。

去る 2 月 28 日には、第 5 期生 158 名全員が同窓会に加入する入会式が行なわれ、会長から歓迎の言葉を述べて祝福いたしました。3 月 1 日には卒業式が挙行政され、進学される方、就職する方、それぞれの目標に向かってスタートして行きました。夢と希望実現のために、3 年間学んだ基礎の上に更に知識や技術を習得して日本国内は勿論、世界で活躍できる人材に成長していくことを祈念申し上げるとともに会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ挨拶いたします。

### 【編集者メモ】

- ・福田会長は 昭和 34 年卒業 第 9 回卒業生
- ・蔵越会事務局は徳高校内：0997-82-1850 向井教諭



## 平成24年 総会にぎやかに開催される！

平成24年度の関東徳高会総会ならびに懇親会は6月30日(土曜日)12時から大井町駅前の品川区立総合区民会館「きゅりあん」にて会員60名参加の下開催された。母校本部からは福田利光会長が、関東の郷友会は雪山渥美徳州会会長、平山徳廣伊仙町会会長、松林純子天城町会会長、堀田統徳之島町会会長(代理出席)、松村久徳之島町会顧問が参加された。

公設の会場利用とあって利用制限があり受付準備に手間取り参加の皆さんには不便を掛けた面もあったが30分遅れで井口京子副会長の開会のことば、郷土謡、校歌斉唱、豊正弘会長挨拶と次第は進行された。

福田利光蔵越会会長からは本部における同窓会の運営や母校支援、会計上の実情などが切実に報告された。

議事では出村博子(S32卒)さんを議長に選出、会務、会計、監査とそれぞれの幹事が報告し承認された。役員改選期のため会員の自薦・他薦を確認したが立候補がないため、役員選出委員会の岡村隆文元会長から喜多正吉幹事長の次期会長推薦案が提案され承認された。新会長から「まずは会の継続と発展、母校および徳高同窓会ならびに郷土の発展に資するよう務めたいので一層のご支援をお願いします」と挨拶。新役員候補を紹介して第1部を遠藤美枝子副幹事長が閉めた。

関東徳高会の伝統である講演には、稲村公望氏が「黒潮文明論」(ふるさと心も姿も美しく)と題して登壇。4月に刷りたての著書は総会に合わせて発刊されたようなタイミングで著者が500円負担の格安頒布を行い頁をめくりながらの熱き黒潮文明論を紹介した。書は「世界戦略情報 みち」に月に2回投稿してきた原稿を製本化したものでテーマごとに短文でまとめられている。興味あるところを拾い読みしても味のある奄美黒潮文化と伝統に接することができ奄美人に宿る心の美しさを振り返えさせる名著である。



講演する稲村公望氏

[著書紹介]・書籍名 「黒潮文明論」 ・著者 稲村 公望  
・発行所 (株)郵研社 ・価格 ¥1,500 -

## 徳高 上松博造校長 歓迎会開催される

平成24年5月24日関東徳高会役員他有志は、母校の上松校長が校長会の公務で上京されるのを機にご多忙な中、スケジュール調整を戴いて品川駅近くの「グリルつばめ」にて歓迎交流会を開催した。

校長は校是の「文武両道の実現」をめざして生徒達は着実に成果を上げていると配布資料を基に熱心に説明されていた。特に総合学科の地場農業に関する知識や技能を修得した成果として缶詰を持参して参加者に配布する心配りをされた。国立大学はじめ一流私大に合格する生徒が増えてきたと報告された。

缶詰は在庫全量を関東徳高会で引取り総会時に販売して好評を博した。ご協力ありがとうございました。



前列右から3人目上松校長

## 新会員新年交流会 平成25年1月16日 神谷町

関東徳高会は新卒や学生の会員を歓迎、激励する会を毎年恒例事業として総会の折に行ってきました。現実には世代の違いもあり新会員の総会への参加が乏しく本会の目的とする会員相互の親睦と発展に結びつかない。これでは将来の本会運営はもとより奄美の文化の継承も危惧されてきます。尖閣諸島やTPP問題など世界の動きも真剣に議論しておくことが必要ではないだろうか。

新会員が集い「ふたば」のように芽吹いて将来の関東徳高会の運営者と期待して後方支援しました。

新人のフレッシュな目標を聞いて頼もしい限りでした。



神谷町駅近くの「幸いち」

新会員参加者:前田稔,酒匂大,永吉夢輝,金丸卓弘,大山帆子,永美咲

## 【母校便り】

### ○同窓会寄贈のシンボル:水泳プール

昭和45年母校の創立20周年を記念して女子寮跡地にプール建設が計画された。「母校の教育の充実・発展と地域社会における教育文化の向上に資する」ことを目的とした同窓会事業のシンボルとして紹介します。

写真: H25 現在



写真: 建設当時



銘盤には S46.4 同窓会と記されている  
スタンドつきは県下でも稀と聞きます

### ○平成 25 年同窓会入会式

平成 25 年 2 月 28 日 卒業式を 3 月 1 日に控え  
158 名全員が同窓会へ入会し入会式が行なわれた。  
福田利光同窓会会長が、祝辞を述べた。



### ○平成 24 年度卒業式 平成 25 年 3 月 1 日

同窓会より贈呈のホルダーと卒業証書を手喜ぶ生徒。  
証書入れを従来の筒状から平らなホルダーに変更した。



## 【会員便り】

### ○古典芸能「能楽」を堪能 平成 24 年 9 月 30 日

能楽「観嘩会」40周年記念が渋谷の観世能楽堂にて行なわれた。趣味として長年能楽を舞い続けている古勝昭男(S34卒)さんが演題「葵上」でシテを務めた。友人、知人等が多く駆けつけ古典芸能の品格に陶酔した。



### ○「能楽」を堪能後同窓会 平成 24 年 10 月 1 日

「能」の発表会に鹿児島、関西から参席した同級生を迎え福井巖さん宅で同窓会を行った。古典芸能文化をつづける古勝さんを称え、同期の再会と今後の健勝を誓いあった。



前左から福井巖、鮫島リカ、古勝昭男、坂元照子、後列福井夫人、福島孝典、古勝夫人、前田広一、守島紀子、白坂正子、西川照子、嘉山佐知子(旧姓表記)

### ○ 中学卒業 50 周年の集い 7 月 14 日～16 日

平成 24 年は徳高昭和 41 年卒生の中学卒業後 50 周年でした。東天城中卒生は 50 周年を記念して沖縄 2 泊 3 日の記念旅行を 5 月に行なった。関東から参加できなかった方もあり改めて外房の大網でバーベキューや温泉を楽しんだ。



## 【ふるさと関連便り】

(写真提供は徳之島万華鏡より)

### ○徳之島の森と世界の森 出前授業 2012.6.11

京都大学の山田勇名誉教授が徳之島の小学校で「徳之島の森と世界の森」と題して出前授業を行なった。

子供達には自然保護の大切さを理解してもらえる良い機会となったようです。環境省は2016年6月に奄美・琉球諸島の世界自然遺産登録を目指している。



### ○まれに見る台風続けて襲来 2012.9.29

台風 15、16、17 号いずれも大型台風が奄美諸島を襲った。3台風で総額 114 億円の被害状況と鹿児島県は発表した。

天城町では最大風速 52m を記録し、屋根が飛ばされ電柱が倒れ、がけ崩れがいたるところで発生し停電や断水が発生して食料品不足が生じる事態となった(屋根に電柱が倒れた様子)



### ○母間小学校創立 110 周年祝賀 2012.11.4

母間小学校は創立 110 周年の記念式典を校区民を招いて体育館で開催した。

学習発表会と記念式典を開催した。

児童数は減少する一方で高学年は複式クラス制。



### ○“とくの島”観光・物産フェア 2013.2.10

代々木公園「野外ステージ」および「イベント広場」に於いて

関東徳州会主催の徳之島フェアが開催され、三町ならびに JA 奄美との連携で見事に目的を達成した。好天に恵まれ大勢の参加者で午前中に完売を見た。



### ○「ザ・徳之島」連 渋谷おはら祭りで県知事賞

第 15 回目「渋谷おはら祭り」が平成 24 年 5 月 20 日に開催され、「ザ・徳之島」連(武田光平会長)が県知事賞に輝いた。



## 【会務報告】

報告期間：平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月末

平成 24 年 4 月 1 日以降の主な会務を報告いたします。

H24.4.21：平成 24 年定例総会準備会議。於：東五反田

H24.5.24：上松校長歓迎会 於： Grill つばめ

H24.6.16：平成 24 年定例総会準備会議。於：東五反田

H24.6.30：平成 24 年総会 於：大井町「きゅりあん」

H24.7.08：関東徳之島町会総会 喜多会長出席

H24.7.15：関東伊仙町会総会 澤田代理出席

H24.7.28：平成 24 年総会総括会議

H24.9.08：関東天城町会総会 喜多会長出席

H24.9.16：関東徳州会総会 喜多会長出席

H24.12.1：関東徳高会役員会 於：東五反田

H25.1.16：新会員新年交流会 於：神谷町

H25.3.09：平成 25 年度定例総会準備会議 於：東五反田

## 【会計仮報告】

報告対象期間：H 24 年 4 月 1 日～H 25 年 3 月 31 日

収入 (円)		支出 (円)	
前期繰越金	275,247	総会・懇親費	309,240
総会会費(私戻金)	322,000	役員会議費	71,000
総会寄付金	102,000	事務・通信費	164,678
来賓祝儀	60,000	郷友会祝儀	40,000
通信賛助金	237,140	雑費(祝電等)	59,965
本部支援金	50,000	(小計)	644,883
役員会余剰金	9,362		
利息他 雑収	27,059	次期繰越金	437,925
収入合計	1,082,808	支出合計	1,082,808

上記の通り報告いたします。

締め切りと会報発行までの期間が短い為仮の報告といたします。正式には総会にて報告いたします。

平成 25 年 3 月 31 日

会長 喜多 正吉 印省略

## 【あとがき】

人は生活の場や職場、信条による集り、趣味の同好会等お互いが寄り添って社会をなしておりますが、なぜか生育地が同じであればそれらを超えて「心許して集える」魔力があるように思います。「精神文化の豊かさ」を尋ねるときには人は同窓会があることに気づくのではないのでしょうか。

多くの励ましの言葉は勿論、会計報告に示します通り通信費の支援ありがとうございます。通信費は支出に示します通り意外とかかります。この会報がカラー印刷できるよう財務のご支援今後もよろしく願います。最後に投稿のお願いと感謝の意を述べます。(文責:喜多)